

# 2歳向けおすすめ絵本リスト

2歳になると、絵本のなかの出来事と自分の体験を重ねあわせて楽しむだけでなく、まだ体験していないことも想像して楽しむことができるようになります。

お子さんとご家族の楽しい時間を提供できる絵本を選びました。

家族団らんの架け橋としてご活用ください。

## 「あーそーぼ」



やぎゆう まちこ/作  
福音館書店

女の子が、ぶーたこちゃんやきっきーくんたちのお家に遊びに行きます。わらべうた「ひとやまこえて」からうまれた絵本です。

## 「うずらちゃんのかくれんぼ」



きもと ももこ/作  
福音館書店

上手にかくれんぼをしている、うずらちゃんとひよこちゃんを探してみましょう。

## 「うたえほん」



つちだ よしはる/絵  
グランマ社

「ぞうさん」「どんぐりころころ」など家族で楽しめるわらべうた・童謡が26曲載っています。優しい絵と楽譜もついています。

## 「おうまさんしてー！」



三浦 太郎/作  
こぐま社

お父さん、くまさんたちに「おうまさんしてー」。それぞれの「おうまさん」の走る音も楽しい、「おうまさんごっこ」の絵本です。

## 「おふろだ、おふろだ！」



渡辺 茂男/文  
大友 康夫/絵  
福音館書店

くまくんが、お父さんと一緒にお風呂に入ります。楽しそうな親子の姿が印象的です。

## 「おやすみ」



中川 李枝子/作  
山脇 百合子/絵  
グランマ社

たくさん遊び、お風呂に入って、晩ごはんを食べて。ゆっくりと一日が終わる様子が描かれています。

## 「おやすみなさい コッコさん」



片山 健/作・絵  
福音館書店

みんな眠った夜に起きているのは、おつきさまとコッコさんだけです。「そらのくもねむったよ」おつきさまはコッコさんに優しく語りかけます。

## 「おんなじ おんなじ」



多田 ヒロシ/作  
こぐま社

仲良しの子ぶたのぶうと子うさぎのぴよんは同じものばかり持っています。違うものはあるのかな？

## 「コロちゃんはどこ？」



エリック・ヒル/作  
まつかわ まゆみ/訳  
評論社

ごはんの時間に子いぬのコロちゃんがいまません。どこにいるのでしょうか？しかけをめくってコロちゃんを見つけましょう。

## 「さよなら さんかく」



わかやま けん/作  
こぐま社

「さよならさんかくまたきてしかく」馴染みのあるフレーズから始まり、形と色を連想しながら楽しむことができます。

## 「たべたの だあれ」



五味 太郎/作  
文化出版局

「さくらんぼ たべたの だあれ」。あ!ぞうさんのしっぽにさくらんぼが!!あてっこ遊びを楽しみましょう。

## 「ちびすけ どっこい」



こばやし えみこ/案  
ましま せつこ/絵  
こぐま社

動物たちとちびすけが相撲を取っています。リズムカルな唄に合わせて楽しく読めるわらべうた絵本です。

## 「でんしゃにのって」



とよた かずひこ/作・絵  
アリス館

うららちゃんは電車に乗って一人でおばあちゃんのところへ出かけます。途中でいろいろな動物が電車に乗ってきます。

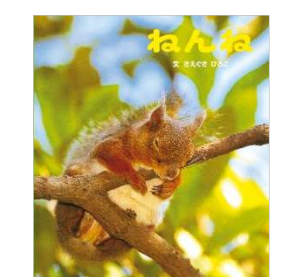
## 「どんどこ どん」



和歌山 静子/作  
福音館書店

土の中でいろいろな野菜が育っています。ページをめくると、どんどこどんどこ見事に育った野菜が姿を現します。

## 「ねんね」



さえぐさ ひろこ/文  
アリス館

キツネ、ライオン、ゴリラなどの動物がスヤスヤ気持ちよく眠っています。なかには驚く寝方をする動物もいます。